

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

| | |
|-------------|--|
| ⚠ 警告 | 回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。 |
| ⚠ 注意 | 回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。 |

●お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- ⚠ 気をつけていただく内容です。
- ⊘ してはいけない内容です。
- ❗ 実行しなければならない内容です。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

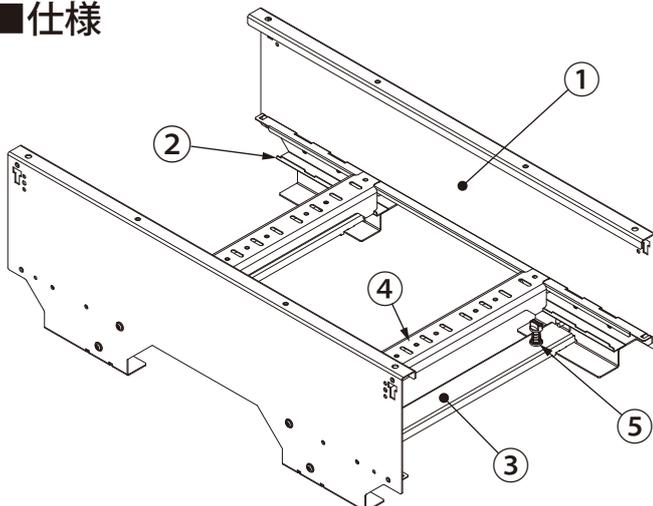
■使用上のご注意

| ⚠ 注意 | | | | | |
|--|------------------------------|-----------|----|------------------------------|--|
| <p>❗</p> <p>本製品は 300V 以下の低圧配線でご使用ください。 部品の組付け、連結金具の組付けに際して、ねじをしっかり締付けてください。落下・破損の原因になります。 また、締付け過ぎの場合は、ねじタップを破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>ねじ呼び</th> <th>適正締付トルク値※</th> </tr> <tr> <td>M5</td> <td>2.9 ~ 3.9N・m (30 ~ 40kgf・cm)</td> </tr> </table> <p>※但し、5タイトねじにおいては締付時の初期トルク値はこの限りではありません。</p> | ねじ呼び | 適正締付トルク値※ | M5 | 2.9 ~ 3.9N・m (30 ~ 40kgf・cm) | <p>⊘</p> <p>内部に配線された状態で製品の取付位置を変更しないでください。断線するおそれがあります。 搭載可能質量を超過しないでください。積載可能質量は 23kg です。搭載可能質量を超過しますと変形・破損の原因になります。 製品を取付けた状態でアイボルトを使用して吊上げないでください。破損・変形のおそれがあります。 本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコみや歪みが発生し、強度の劣化となるおそれがあります。 次のような場所では使用しないでください。 故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・高温、高温となる場所 <li style="width: 50%;">・腐食性ガスのある場所 <li style="width: 50%;">・可燃性ガスのある場所 <li style="width: 50%;">・塵埃やオイルミストが多い場所 <li style="width: 50%;">・振動、衝撃のある場所 <li style="width: 50%;">・水滴のかかる場所 |
| ねじ呼び | 適正締付トルク値※ | | | | |
| M5 | 2.9 ~ 3.9N・m (30 ~ 40kgf・cm) | | | | |
| <p>⚠</p> <p>ケーブルを結束する際は、締付け過ぎないようにしてください。断線するおそれがあります。 ケーブルを無理に引張らないようにしてください。断線するおそれがあります。</p> | | | | | |

■設置時のご注意

| ⚠ 警告 | |
|--|---|
| <p>⊘</p> <p>ラックに取付けた状態で製品に手をつき体を支えないでください。落下によりけがの原因になります。</p> | <p>❗</p> <p>ラック天井面に載せる際は、足元が安定していることを確認してください。転倒などによりけがの原因になります。 製品底面の引掛用のフックをラック天井板に確実に差込んでください。落下によりけがの原因になります。 本体固定用ファスナーは確実にロックするまで回転させてください。落下によりけがの原因になります。</p> |
| <p>アースせよ</p> <p>⏚</p> <p>感電防止のため、必ず接地（アース）してください。</p> | |
| ⚠ 注意 | |
| <p>⊘</p> <p>ラックに取付ける際、ラック天井面に乗らないでください。破損・変形のおそれがあります。</p> | <p>⊘</p> <p>本体取付用ファスナーは 90°以上回さないでください。90°以上回すと破損するおそれがあります。</p> |

■仕様



| 品名記号 | 色 | 適用機種※ | 1セット内容 |
|--------|------|------------|--------|
| RDL-6H | ブラック | ヨコ 600mm 用 | 1台 |
| RDL-7H | | ヨコ 700mm 用 | 1台 |

※ラック本体（AH シリーズ /FS シリーズ）外形寸法を示します。

| 部品名 | 材質 | 板厚(mm) | 数量 | |
|-----|---------|--------|-----|----|
| ① | トラフサイド | 鉄 | 1.6 | 2枚 |
| ② | ラダー保持金具 | 鉄 | 1.0 | 2本 |
| ③ | 取付フレーム | 鉄 | 1.6 | 2本 |
| ④ | ラダーバー | 鉄 | 1.0 | 2本 |
| ⑤ | ファスナー | PA・POM | — | 2コ |

●付属品

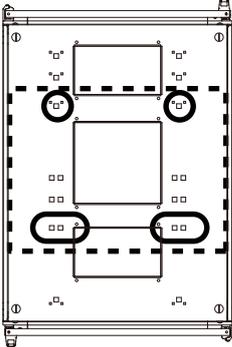
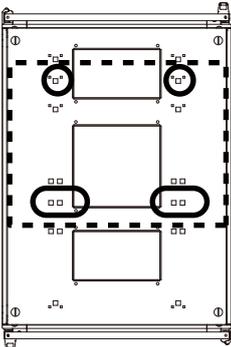
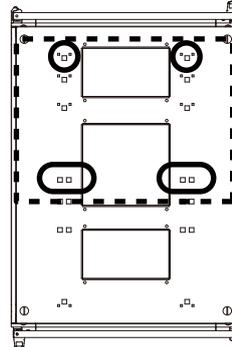
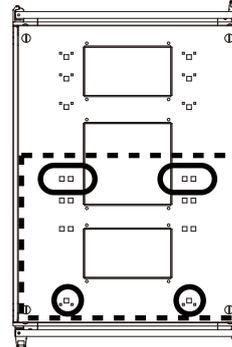
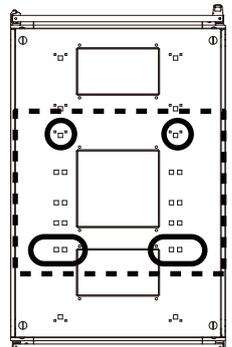
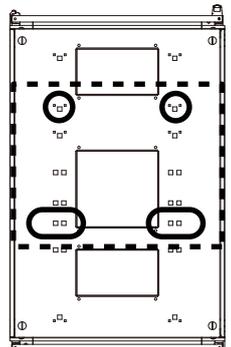
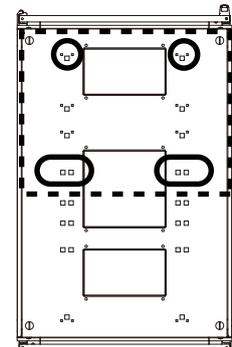
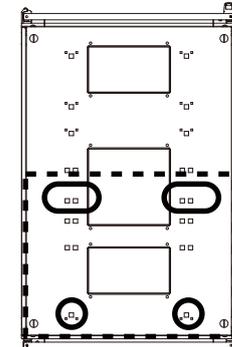
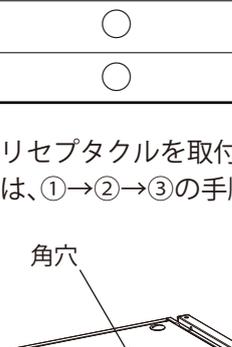
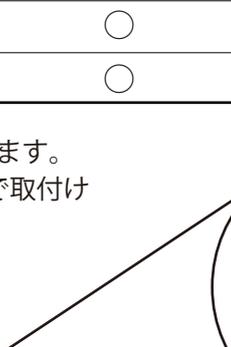
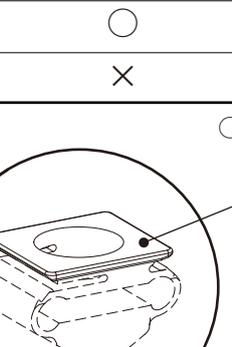
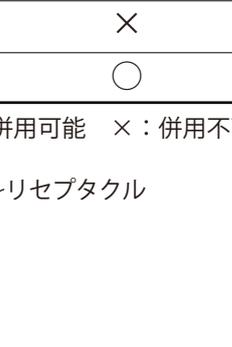
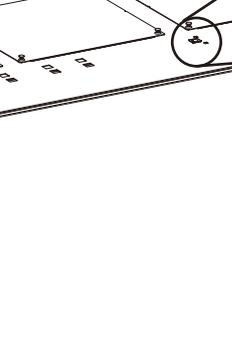
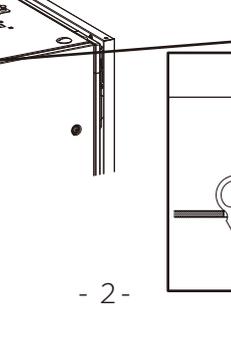
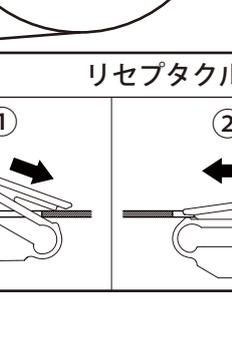
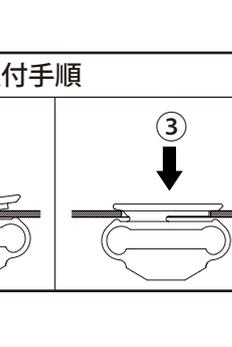
| 名称 | 数量 | 備考 |
|---|----|-------------------|
| 連結金具  | 2コ | — |
| リセプタクル  | 2コ | ファスナー締結部品 |
| Sタイトねじ M5  | 4コ | 連結金具取付用 アース接続用 |

■取付方法

1. ラック天井面への取付位置を決めます。

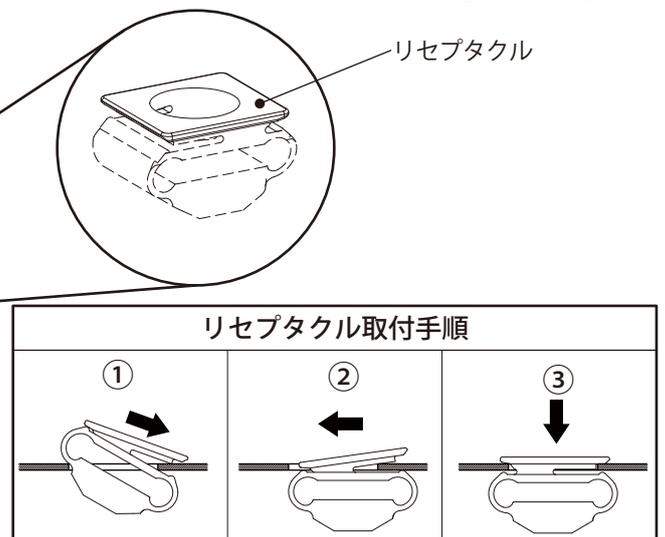
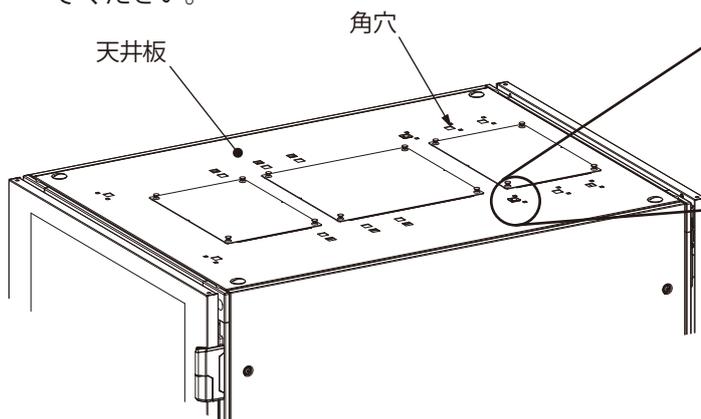
●ヘッドラダー取付位置一覧表

 ヘッドラダー取付位置  リセプタクル取付位置  取付フレーム・フック引掛位置

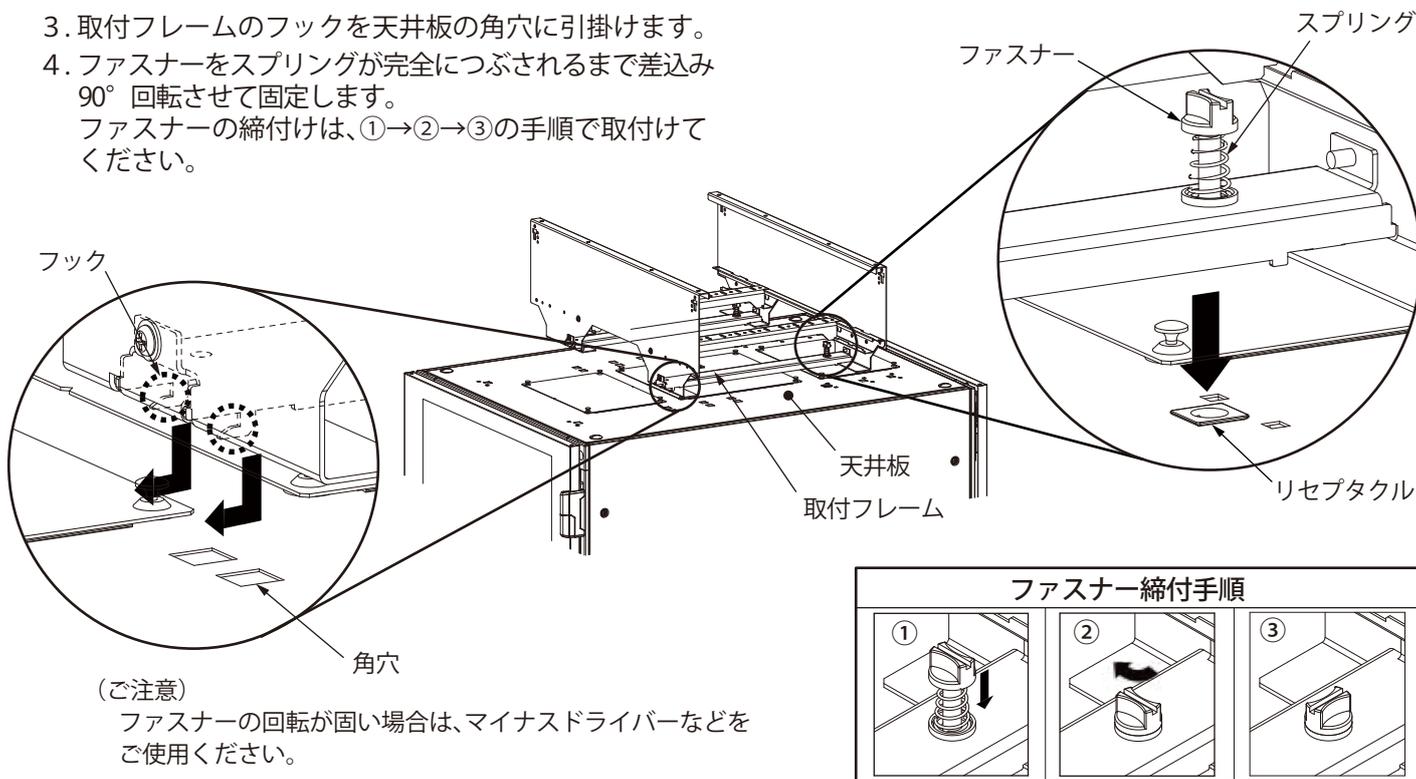
| | パターンA | パターンB | パターンC | パターンD |
|--------------------------------------|---|---|--|---|
| 背面 <ラック機種> AHS100 FS100 |  |  |  |  |
| 前面 背面 |  |  |  |  |
| 前面 背面 |  |  |  |  |
| 前面 背面 |  |  |  |  |
| アイルキャッピング ヘッドキャップ | ○ | ○ | ○ | × |
| ヘッドラダー用オプション アイルラダー | ○ | ○ | × | ○ |

○：併用可能 ×：併用不可

2. 天井板の角穴に付属のリセプタクルを取付けます。
リセプタクルの取付けは、①→②→③の手順で取付けてください。



3. 取付フレームのフックを天井板の角穴に引掛けます。
4. ファスナーをスプリングが完全につぶされるまで差込み90°回転させて固定します。
 ファスナーの締付けは、①→②→③の手順で取付けてください。

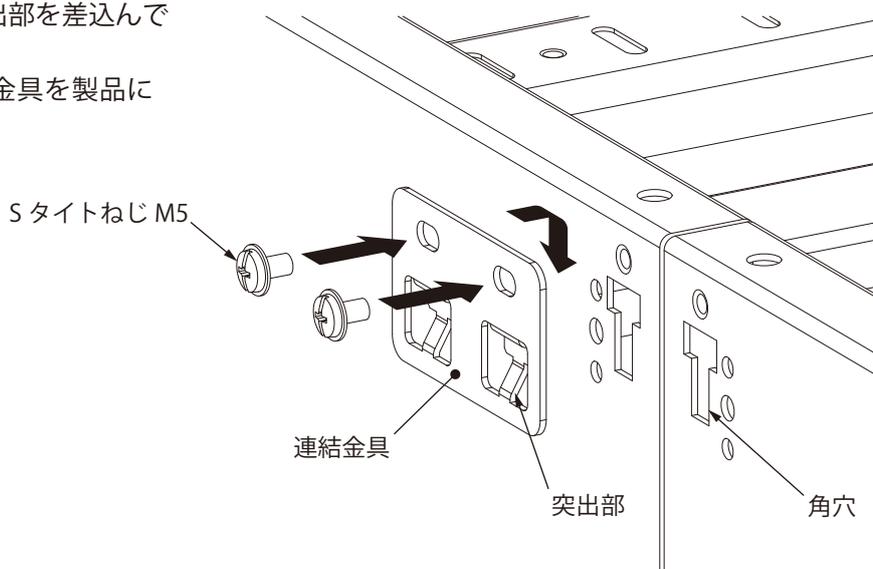


| 警告 | |
|-----------|--|
| ! | 製品底面の引掛用のフックをラック天井板に確実に差込んでください。落下によりけがの原因になります。 |
| ! | 本体固定用ファスナーは確実にロックするまで回転させてください。落下によりけがの原因になります。 |

| 注意 | |
|-----------|---|
| ⊘ | 本体取付用ファスナーは90°以上回さないでください。90°以上回すと破損するおそれがあります。 |

■ 連結方法

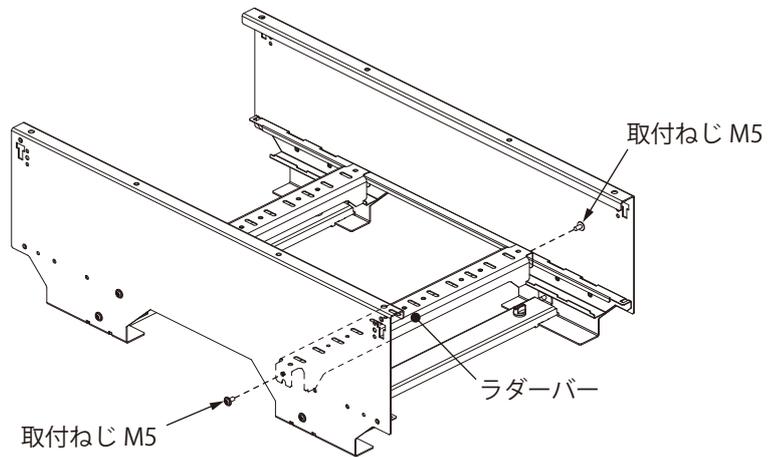
1. 製品側面の角穴に連結金具の突出部を差込んでください。
2. 付属のSタイトねじ M5 で連結金具を製品に締付けてください。



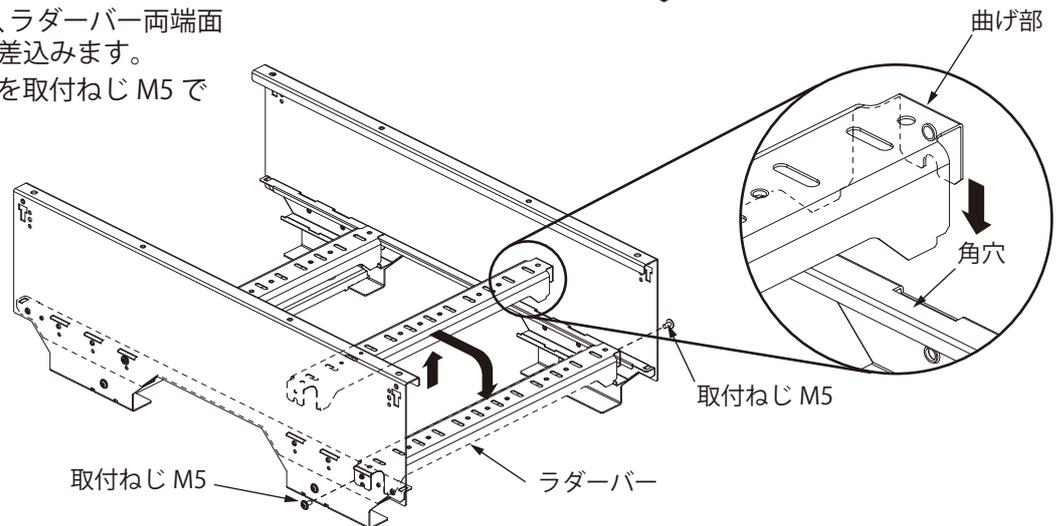
| 注意 | |
|-----------|---|
| ! | 連結金具を取付ける際は、ねじをしっかり締付けてください。落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじタップを破損するおそれがあります。 ※但し、Sタイトねじにおいては締付け時の初期トルク値はこの限りではありません。 |
| ねじ呼び | 適正締付トルク値※ |
| M5 | 2.9 ~ 3.9N・m (30 ~ 40kgf・cm) |

■ラダーバー移動方法

1. ラダーバーを固定している両側面の取付ねじ M5 を取外します。



2. ラダーバーを持ち上げ、ラダーバー両端面の曲げ部を別の角穴に差込みます。
3. 両側面からラダーバーを取付ねじ M5 で固定します。



⚠ 注意



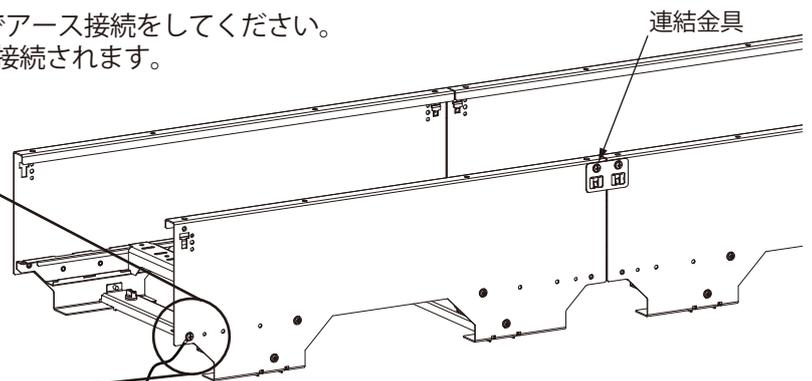
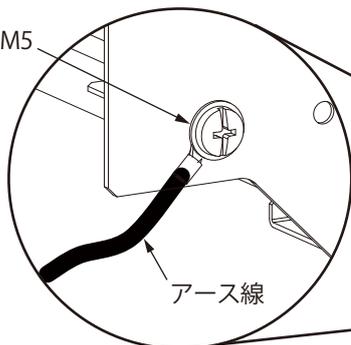
ラダーバーを固定する際は、ねじをしっかり締付けてください。破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじタップを破損するおそれがあります。
※但し、Sタイトねじにおいては締付け時の初期トルク値はこの限りではありません。

| ねじ呼び | 適正締付トルク値※ |
|------|------------------------------|
| M5 | 2.9 ~ 3.9N・m (30 ~ 40kgf・cm) |

■アース接続方法

製品側面端部の丸穴に付属の S タイプねじ M5 でアース接続をしてください。
なお、本製品の連結間は連結金具により電氣的に接続されます。

S タイプねじ M5



⚠ 注意



アース接続する際は、ねじをしっかり締付けてください。また、締付け過ぎの場合は、ねじタップを破損するおそれがあります。
※但し、Sタイトねじにおいては締付け時の初期トルク値はこの限りではありません。

| ねじ呼び | 適正締付トルク値※ |
|------|------------------------------|
| M5 | 2.9 ~ 3.9N・m (30 ~ 40kgf・cm) |

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社のお客室相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2012年8月現在のものです。

C472401921